

平成30年2月27日

**平成29年12月期
決算説明会**

使命
悪をなさない
利益を生み出す
永續する

理念
人ひとりを大切に
地域社会への貢献
お客様を第一に

社訓
日々向上
創意工夫
同心協力

大倉工業株式会社

OKURA 真心を込め、夢を叶えよう。技術を磨き進めよう。

当社の概況

社名	大倉工業株式会社 Okura Industrial Co.,Ltd.
本社所在地	香川県丸亀市中津町1515番地
代表者	代表取締役社長 高濱 和則
設立	昭和22年7月11日
資本金	86億1千9百万円
発行済株式数	62,074,351株
従業員数	2,027名 (連結子会社13社含む)

【平成29年12月末現在】

OKURA 真心を込め、夢を叶えよう。技術を磨き進めよう。

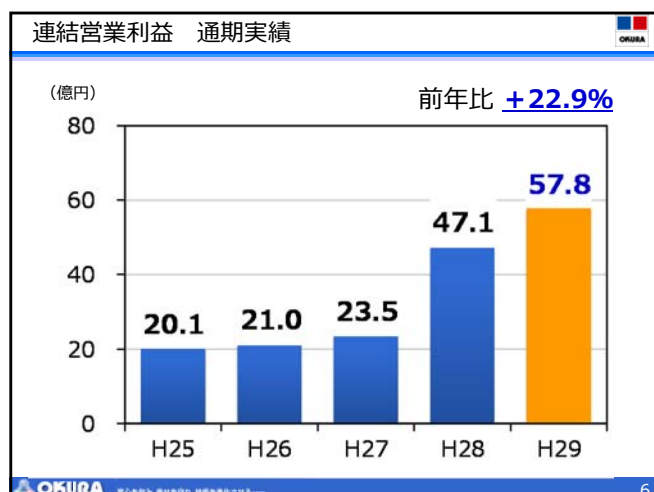
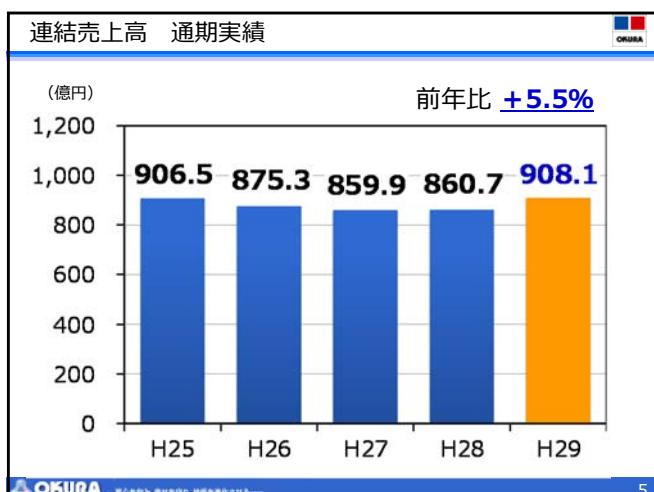
目次

1. 平成29年12月期決算の概要
2. 平成30年12月期の業績予想

OKURA 真心を込め、夢を叶えよう。技術を磨き進めよう。

1. 平成29年12月期決算の概要

OKURA 真心を込め、夢を叶えよう。技術を磨き進めよう。



連結売上高・営業利益

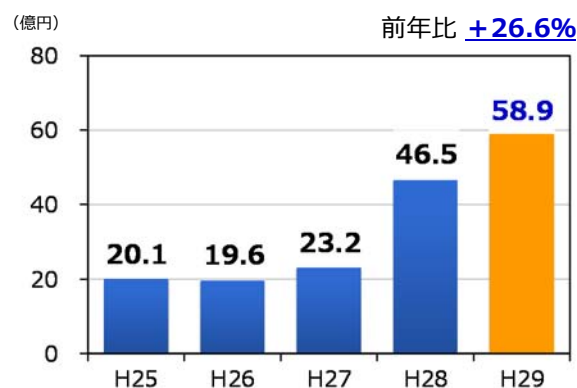
【売上高】

- 前年同期比+5.5%（上期：+1.9%下期：+9.0%）
全てのセグメントで前年同期比増収となった
特に新規材料事業は、例年出荷が減少する第4四半期に
おいても販売好調が続き、全体の増収を牽引

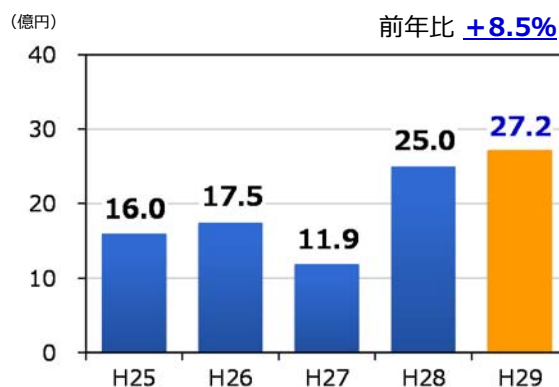
【営業利益】

- 前年同期比+22.9%
増収に加えて、新規材料事業における新工場の損益改善により、**連結決算開始後、最高の利益**

連結経常利益 通期実績



連結親会社株主に帰属する当期純利益 通期実績



特別損益

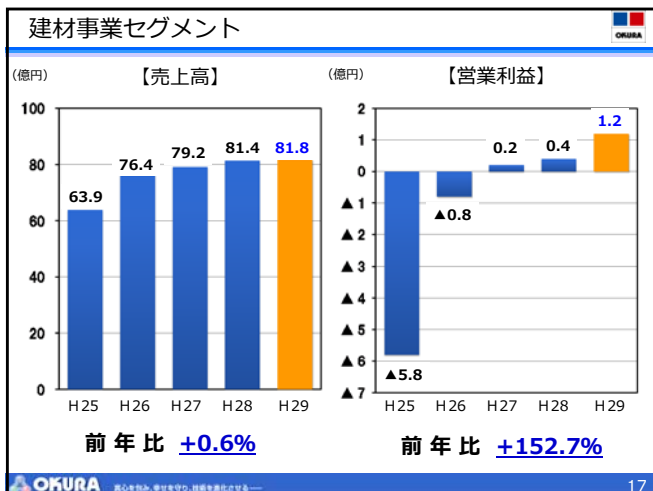
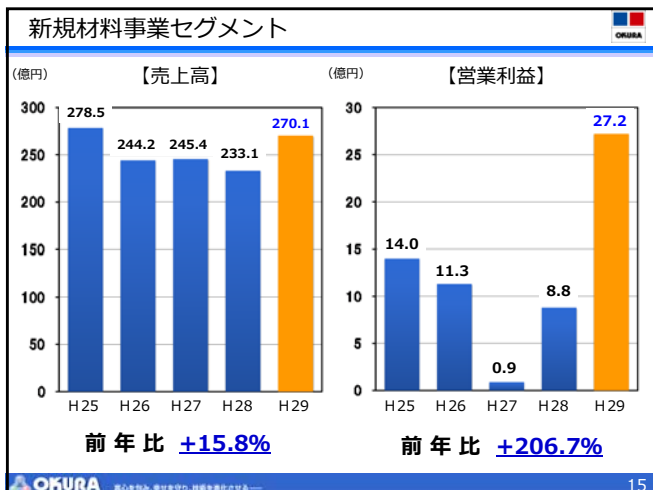
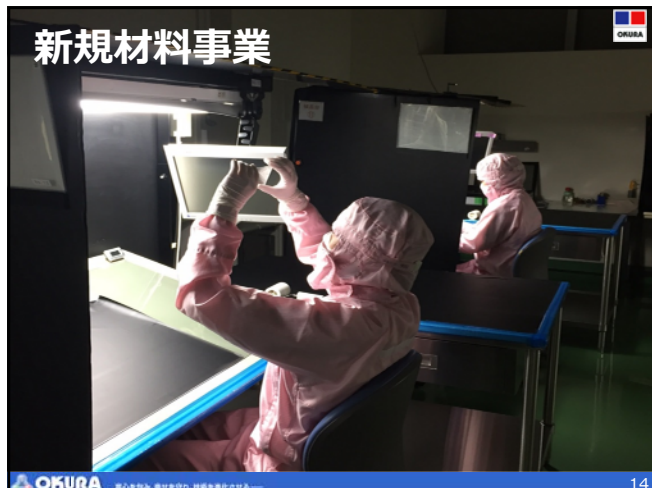
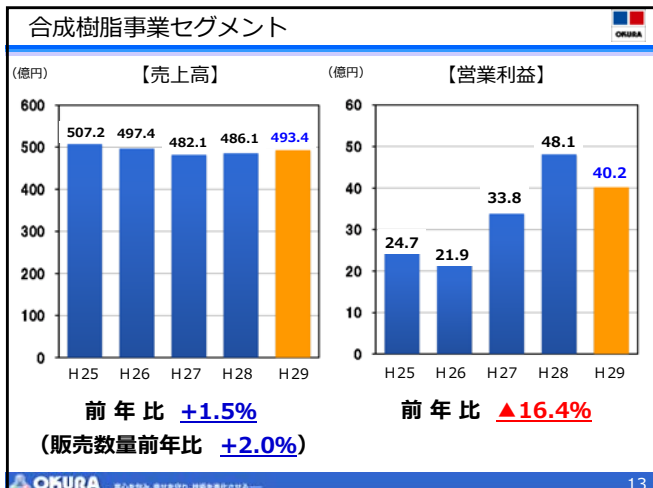
【特別損益】

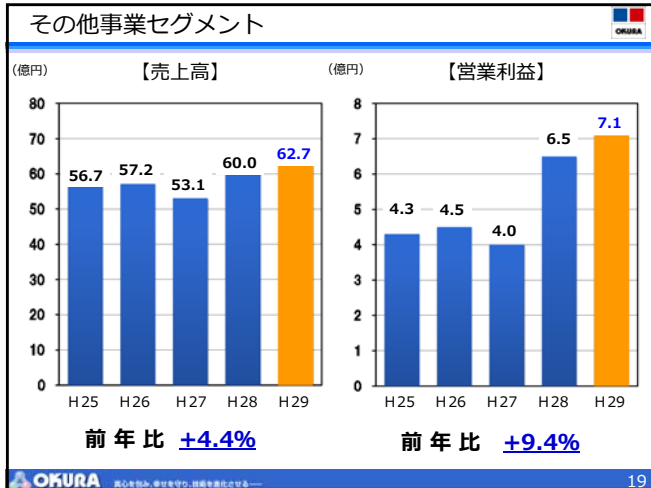
- **固定資産除売却損**
既存設備の撤去等 2.8億円
- **減損損失**
ホテル事業 土地建物等 15.6億円

セグメント別の概要

合成樹脂事業







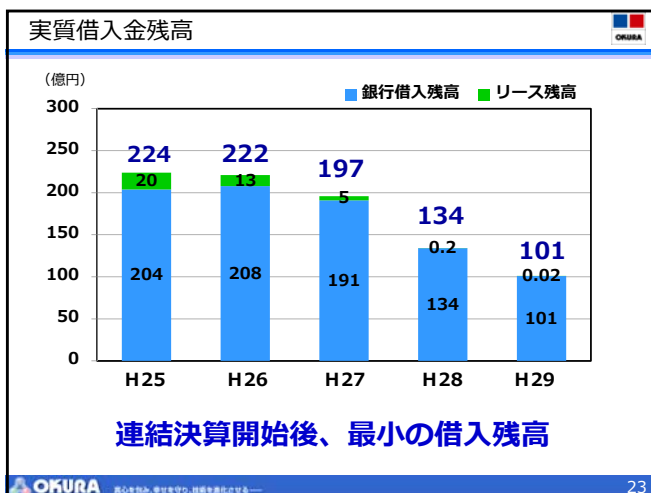
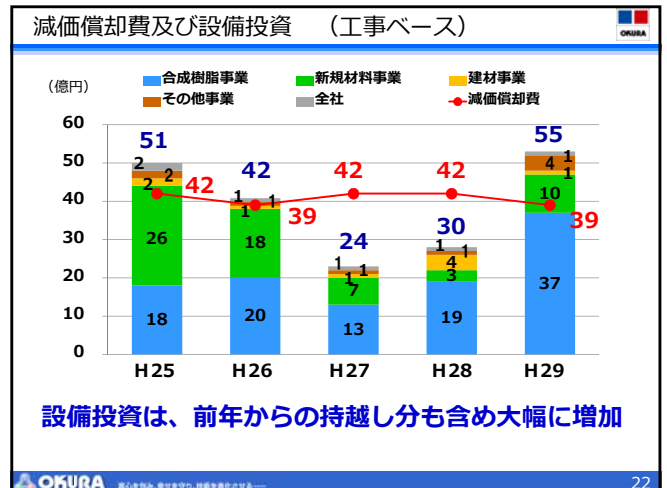
キャッシュ・フロー

連結キャッシュ・フロー計算書

	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
現金及び現金同等物期首残高	74.0	78.3	67.3	73.8	74.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	37.9 (62.0)	54.4	57.5	75.5	90.9
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲38.5	▲59.0	▲21.3	▲7.1	▲40.2
財務活動によるキャッシュ・フロー	3.8 (▲20.3)	▲6.6	▲30.4	▲66.9	▲39.0
現金及び現金同等物期末残高	78.3	67.3	73.8	74.7	86.4

※ () 内は、手形割引等考慮後の実質キャッシュ・フロー

**営業CFは大幅増加
合成樹脂事業を中心に設備投資に注力**



2. 平成30年12月期の業績予想

業績予想	
マクロ見通し	
日本経済は輸出の増加とオリンピック関連需要による下支えもあり、堅調な成長が続く見通し	
売上高	
ほぼ前年並み	
営業利益	
合成：原料値上がりにより減益	
新規：減価償却費を中心に固定費増加により減益	
建材：フロア用・構造用PBでの拡販により増益	

OKURA 25

業績予想				
(億円)				
	上期	下期	通期	前年
売上高	450	460	910	908
営業利益	23.5	24.5	48.0	57.8
経常利益	23.5	24.5	48.0	58.9
親会社株主に帰属する当期純利益	17.5	7.5	25.0	27.2

OKURA 26

業績予想 セグメント別売上高				
(億円)				
	上期	下期	通期	前年
合成樹脂事業	250	260	510	493
新規材料事業	130	130	260	270
建材事業	40	40	80	81
その他	30	30	60	62
合計	450	460	910	908

OKURA 27

業績予想 セグメント別営業利益				
(億円)				
	上期	下期	通期	前年
合成樹脂事業	15.5	17.5	33.0	40.2
新規材料事業	12.5	11.0	23.5	27.2
建材事業	1.5	2.0	3.5	1.2
その他	3.5	3.5	7.0	7.1
調整額	▲9.5	▲9.5	▲19.0	▲17.9
合計	23.5	24.5	48.0	57.8

OKURA 28

設備投資計画	
H30年：設備投資額55億円	
H28年～30年の累計では141億円となり、第5次中計の130億を若干上回る見込み	
合成樹脂事業：29億円 OPシュリンク多層延伸機増設 13億円等	
新規材料事業：17億円 光学フィルム製造装置等	
建材事業：3億円 パーティクルボード製造関連設備等	
その他：6億円 新システム構築 1億円等	

OKURA 29

グループ基本方針	
グループ基本方針	

OKURA 30

大倉工業グループの目指す姿

社会から信頼される企業であり続ける
成長分野にソリューションを提供できる
技術優位な企業集団となる



OKURA 真心を込め、夢を叶え、信頼を築かせる

31

基本方針

全社戦略

国内市場は、**量** 海外市場は、**質**
(地産地消・現地調達)

重点課題

- ① 不採算製品の整理と得意分野での拡大
- ② 事業組織を再編し、新分野・新ニーズ対応による事業規模拡大
- ③ 新規事業の探索

↓

収益基盤の安定強化

OKURA 真心を込め、夢を叶え、信頼を築かせる

32


OKURA

事業別基本方針

OKURA 真心を込め、夢を叶え、信頼を築かせる

33

合成樹脂事業



OKURA 真心を込め、夢を叶え、信頼を築かせる

34

【合成樹脂事業】

選択と集中による事業領域の拡大

重点課題

- ① BU再編 (6グループ制→4 BU制)
- ② シュリンク製品拡販のための最新設備導入
- ③ 関東地区での製造・営業強化

↓

利益体質の強化

OKURA 真心を込め、夢を叶え、信頼を築かせる

35

【合成樹脂事業】中計最終年のローリング

平成29年の到達点

- 仲南地区での設備投資は、印刷機の導入まで完了
- 拡販成功により、業績は堅調に推移

▽

平成30年の方針

- 足元の原材料価格の高騰に対応できる事業に
- 新設設備による製品の垂直立ち上げを

OKURA 真心を込め、夢を叶え、信頼を築かせる

36



【新規材料事業】

利益が出る事業に立て直し、成長分野での要求に対応

重点課題

- ① G棟の安定稼働と生産性向上
- ② 新樹脂原料での光学フィルムの上市

市場でのプレゼンス向上

OKURA 真心を込め、夢を叶え、技術を進化させる

38

【新規材料事業】 中計最終年のローリング

平成29年の到達点

- G棟の安定稼働は、ほぼ実現した
- 一年を通してフル稼働の操業が続いた

平成30年の方針

- 既存ラインの安定稼働により、堅実に売上高と利益を稼ぐ
- 製膜能力の増強により、新規案件への対応を

OKURA 真心を込め、夢を叶え、技術を進化させる

39



【建材事業】

高付加価値製品の拡充

重点課題

- ① P Bの生産・販売の最適化
- ② フロア拡販、構造用 P B事業の本格化
- ③ ラミネート技術の進化

安定的な黒字化事業

OKURA 真心を込め、夢を叶え、技術を進化させる

41

【建材事業】 中計最終年のローリング

平成29年の到達点

- P Bフロア関連製品が堅調に推移
- 構造用 P Bの拡販が急務

平成30年の方針

- P Bフロア及び構造用 P Bを計画通りに拡販する
- 予防保全により、P B製造ラインの安定稼働を実現

OKURA 真心を込め、夢を叶え、技術を進化させる

42

【建材事業】期待の新製品

構造用PB施工例

OKURA 真心をこめ、夢を叶え、信頼を築かせる。

43

【その他事業】

その他事業

OKURA 真心をこめ、夢を叶え、信頼を築かせる。

44

【その他事業】

地域密着と新商品開発

重点課題

- ホテル：地域貢献と固定費の引き下げ
- 情報：監査レンジに続く次の柱となる外販製品の開発
- ハウス：従来工法から脱却し、より耐震・省エネ商品へシフト
- プレカット：地域一番の競争力キープと利益率の向上

収益基盤の安定強化

OKURA 真心をこめ、夢を叶え、信頼を築かせる。

45

【R & Dセンター】

「環境・エネルギー」「ライフサイエンス」「情報電子」

新しい技術の獲得 新規事業に繋がるテーマ開発

開発の方向性 要素技術の体系図

OKURA 真心をこめ、夢を叶え、信頼を築かせる。

46

業績予想・事業計画に関する注意事項

本資料に掲載されている業績予想・事業計画は、当社が現時点で入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想・計画とは異なる場合がございます。

OKURA 真心をこめ、夢を叶え、信頼を築かせる。

47